



超音波検査で循環器のちょっとした異常を発見する

目指しています」
個人病院では、MRIやCTなどの高額設備の導入は難しい。また高度な手術も、大学病院などが担う領域だ。しかし、大病院への通院は、飼い主にとっても金銭的・時間的負担が重い。「個人病院で、できるだけ高度治療を提供したい」という思いを結実させたのが、専門外来制度なのだ。

専門的に学んでいる分野を持つ獣医師も少なく

野を育成できないという業界全体の現状があります」

「心臓を例にとると、7〜8割は『弁膜疾患』と呼ばれる病気で、症例も多いため、多くの医師が診察・治療できます。しかし、残りの2〜3割の病気を見出し、治療し、適切な薬を提供できる病院は多くありません。このように、各分野で専門化が望まれています。そのために、各分野を育成できないという業界全体の現状があります」

プロを育てる土壌を築き 獣医療に新風を呼び込む

専門的治療にかける佐藤さんの情熱には、もうひとつの理由がある。

「心臓を例にとると、7〜8割は『弁膜疾患』と呼ばれる病気で、症例も多いため、多くの医師が診察・治療できます。しかし、残りの2〜3割の病気を見出し、治療し、適切な薬を提供できる病院は多くありません。このように、各分野で専門化が望まれています。そのために、各分野を育成できないという業界全体の現状があります」

「専門的な治療が受けられないことで、救えるはずの命が救えない。そのことが嫌で、大学在学中から専門治療というものを強く意識してきました。病院を営営する身となった今は、各分野のプロが治療を行いながら学び、技術を高めていける土壌を作りたいのです」

専門外来はその第一歩だ。さらに11年4月には、中央

「新しい世代の私たちが、新しい獣医療を作り上げていかなければいけない。非常に労力も時間もかかることです。業界全体の底上げにも積極的に関わってきたいと考えています」



佐藤さんは著書も執筆。「いぬのココロがわかる本」「ねこのココロがわかる本」(ぶんか社)

各分野のプロが診察する 専門外来でより精度の高い「1・5次診療」を提供する



Shirokane Takanawa Animal Hospital
白金高輪動物病院

Doctor
佐藤 貴紀

5つの専門外来で 病気を未然に発見する

3年半前、人気住宅街・白金の一角に開院した白金高輪動物病院で院長を務めるのは、佐藤貴紀さん。若干、34歳の若手獣医師だ。

しかし佐藤さんは、2次診療を中心とした上石神井動物病院で経験を積み、さらに西荻動物病院で副院長を務めたキャリアをもつ。

特に熱を入れて学んできたのが、心臓疾患などを治療する循環器科で、獣医療循環器学会にも所属。11年4月、獣医循環器学会認定医資格を取得しました。

「レントゲン、心電図だけでなく、超音波検査も当院で行えるようにして、ミリ単位の異変の検査に力を注

いでいます。心臓はとても繊細な器官で、動物によってサイズも構造も異なります。それぞれに合った治療法を追究しています」

この白金高輪動物病院には、1つの大きな特徴がある。それが「専門外来」だ。整形外科・脳神経外科、皮膚科、眼科、しこりなどを発見するための臨床病理科、そして自然治癒能力を高めるための自然療法科という5つの分野について、それぞれのエキスパートの医師を招いて診察を行うのだ。各科とも毎月1回程度診察日が設定されている。

「動物病院は基本



白金という好立地に映えるスタイリッシュな外観と内装

的に、目でも皮膚でも心臓でも、様々な部位について基本的な治療を行います。しかし、最初の診断がより正確で、確実であつてこそ、日常の治療は効果を発揮します。ですので、最初の確定診断こそ、その道のプロが行うべきなのです。本院では、専門外来の先生方の診断を経ることで治療の質を高める、いわば『1・5次診療』的な治療の実践を